

2021年度商社リーグ 代表者引継会議 議事録

日時	2021年9月28日(火)19:30-21:30
会場	ZOOM
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	日鉄物産/駒形、竹内

議題	出席者
1 案内・注意事項等	役員会 金田、北川、高橋、高柳、飯山、辻村、赤司
2 会長コメント	伊藤忠商事 山田、大谷、山越 日鉄物産 駒形、竹内
3 「2020感謝杯」の主旨と残り試合	伊藤忠丸紅鉄鋼 満井、川本、小林、神辺須 阪和興業 今井、北浦、関根
4 2021年度商社リーグについて	兼松 伊東、塚越 丸紅 山縣、由利
5 2020年度会計報告	住友商事 堀本、蒔田 三井物産 浅井、梶野
6 「2021謝恩杯」について	双日 佐藤、篠田、中井、市川 三菱商事 福島
7 2021年度運営要綱	豊田通商 中川 JFE商事 長澤、小笹、池田、椎原
8 事務連絡・日程等	
9 プライバシーポリシー同意書	
10 商社リーグの今後の25年間に向けて	

1 対応事項	内容	期日/担当
① 開幕前各種申請	①ML登録者の申請、②代表者名簿の申請、③11月の不可日/グラウンド取得日申請	9月30日迄/各チーム
② 開幕前各種申請	①チームデータの申請、②年度不可日の事前申請、③2021年度大会参加費(18万円)の振込み	10月8日迄/各チーム
③ 開幕前各種申請	プライバシーポリシー同意	別途連絡/各選手
2 決定事項	内容	期日/担当
①		
②		
③		
3 情報共有及び注意喚起事項	内容	期日/担当
①		
②		
③		
4 意見交換及び審議事項	内容	期日/担当
①		
②		
③		
5 講義及びその他	内容	期日/担当
①		
②		
③		

<内容>

議題1 案内・注意事項等

- ・ 自主運営の中で日本一精度の高いリーグ。日本サッカー協会から表彰を受けた実績を持つ。
- ・ 1995年より法人資格を持たず、任意団体で運営を行ってきたが、現在存続の危機に陥っている。
- ・ 存続の危機に陥る主な要因は外部環境と内部環境の変化が挙げられる。

議題2 会長コメント

- ・ 商社リーグは自主運営リーグの中で日本一精度の高いリーグ。日本サッカー協会から賞賛を受けた実績を持つ。
- ・ 1995年より法人資格を持たず、任意団体で運営を行ってきたが、現在存続の危機に陥っている。
- ・ 存続の危機に陥る主な要因は外部環境と内部環境の変化が挙げられる。
- ・ 外部環境としてはコロナウイルスにより収入が減り、固定費のみが残る。
- ・ 昨年はレギュレーションを意図的に変更し、参加チームファーストの形式にて「感謝杯」を実施。
- ・ しかし、予想以上にコロナウイルスの感染拡大が続き、固定費のみが残ってしまう状況となった。
- ・ 現在は固定費の支払いを延滞いすることで、何とか凌いでいる状況。
- ・ 内部環境の変化としては主幹事を行うチームですら参加できなくなっている状況、参加メンバーの激減が挙げられる。
- ・ 内部または外部環境が変わった場合はイノベーションを行う必要がある。今年度の状況次第ではリーグの解散を視野に入れる必要がある。
- ・ 独立系自主運営リーグとして、今年度はリーグの存続ファーストを念頭に行う。

議題3 「2020感謝杯」の主旨と残り試合

- ・ 10月1日より残りの試合を実施。具体的な日程についてはメール参照
- ・ 万が一10月実施できなかった場合は2022年度1月にずらし、来年度のリーグに被らないようにする。
- ・ 一部参加チームより、「日程通知が遅いのではないか」と指摘あるも、

- ・ 日程通知が遅れる要因は、グラウンドの使用可否、参加チームの辞退によるもの。
- ・ 役員会議は、ほぼ毎週開催しており、怠慢なリーグ運営を行っている訳ではない。
- ・ 各チームへは「参加者」スタンスではなく、「運営者」、「参加者」の両軸でのコミットメントを求めたい。

議題4 2021年度商社リーグについて

- ①自主運営の促進
 - ・ 役員幹事のリーダーシップ、参加者の協力が必要不可欠
 - ・ 各チーム人数集めを行い、リーグに参加を行う。
- ②歴史
 - ・ 参加チームの減少、コロナウイルスの影響を受け現在転換期を迎えている。
 - ・ 1994年～1996年 新体制でのリーグ発足
 - ・ 2020年～2021年 外部変化内部変化
- ③コアバリュー（4P）
 - ・ Pride 会社の代表として闘っているというプライドを持つ
 - ・ Passion サッカーに情熱を持ち取り組む
 - ・ Punctual 時間厳守、雑務の遂行。
 - ・ Professional リーグ運営を自主的に行う。
- ④組織と運営体制 *別紙「2021年度商社リーグについて_20210928」参照
- ⑤グラウンド利用料
 - ・ 従来は各チーム所有のグラウンドを行ってきたが、徐々に減少。
 - ・ 各チームの部費により賄ってきたが、近年はリーグの運営費により補填するケースが増えている。
 - ・ 勝ち点減、罰金の該当項目について運営要項を熟読する必要あり。

議題5 2020年度会計報告

参加費収入	1,200,000	* 1チーム10万円*12チーム、従来は16万円*12チーム
雑収入	20,000	
グラウンド費用	-404,600	
固定費	-854,970	* 商社リーグのDX化に向け一時的出費
返金その他	-103,400	
収支	-142,970	

議題6 「2021謝恩杯」について

- ①2021年度のリーグネームは「謝恩杯」。恩返しをテーマとし、プロフェッショナルイズの部分に重きを置き、リーグ運営を行う。
- ②リーグ持続ファーストの考えを持つ
- ③リーグの開始は2021年11月より。
 - ・ 1部、2部の2リーグ制構成。2019年度の結果を基にリーグを構成。リーグの昇降格は行わない。
 - ・ コロナウイルスの影響を受けてのメンバー不足はペナルティーの対象外となる。
 - ・ 参加費用は18万円。（現在のリーグ状況を背景に価格設定） →各チームへ周知・発信を要請。
- ④当日不参加チームが発生した際の対処方法
 - ・ 対戦相手が、コロナウイルスの受け辞退を行った場合も審判、MCの業務は遂行する。
 - ・ 元々試合を行う予定だったチームはグラウンドを使用する権利を有する。（前日昼までに使用の可否連絡を行う。）

議題7 2021年度運営要綱

- ①運営要項の変更点について（黄色のハイライト箇所が2020年からの変更点）
 - ・ 運営要項と異なる場合は役員会に決定権を有する。
 - ・ 別紙「2021年度運営要綱_新旧比較表 20210928」参照

議題8 事務連絡・日程等

- ①各チーム登録申請
 - ・ 9月30日迄 ①ML登録者の申請、②代表者名簿の申請、③11月の不可日/グラウンド取得日申請
 - ・ 10月8日迄 ①チームデータの申請、②年度不可日の事前申請、③2021年度大会参加費(18万円)の振込み
 - ・ 参加の意思確認 → ①9月28日（火）、②10月8日（金）、③10月29日（金）の3段階で意思確認実施。
 - * 10月29日（金）時点で参加意思表明不可の場合、日程調整等の面から辞退扱いへ。
 - * 9月28日（火）時点回答

参加	丸紅、住友商事、三井物産、双日、兼松、JFE商事、豊田通商
不参加	三菱商事、 回答留保 伊藤忠商事、伊藤忠丸紅鉄鋼、阪和興業、日鉄物産

議題9 プライバシーポリシー同意書

- ・ 個人情報保護法の取締強化に伴い、従来のチーム代表ではなく、参加者全員より承諾を取る形に変更する。
- ・ 回答は、マイクロソフトフォームズを用い、メールにて配信を行う。
- ・ シーズン途中で追加登録を行う場合はチーム内で該当メンバーへ転送し、合意を得る。

議題10 商社リーグの今後の25年間に向けて

- ・ 短期的な存続ではなく中長期的な存続を念頭に、金田会長より脱却を行う。
- ・ 企業との戦略的アライアンス、リーグカルチャーの浸透、DX化を取組み予定。